

トマト育苗の記録と情報誌

第1号

編集

トマト生産部

2025.04.25



秩父別町のトマトジュースは、朝もぎの完熟したトマトで作られています。一口飲むとトマトを丸かじりしたような、自然な美味しさが口の中いっぱいに広がります。完熟トマトのあの美味しさを、ぜひご賞味ください。

はじめに

秩父別振興公社では、今年からトマトの栽培を行うことになりました。

農家の皆様に協力いただき、トマトを栽培してきましたが、生産者の高齢化等により年々作付け数が減少していききました。

そのため、秩父別町の特産品であるトマトジュース「あかずきんちゃん」の生産を確保するため、振興公社がトマト生産チームを作ることになりました。

数名のスタッフで、経験豊富な方の指導を受けながらおいしいトマトを作ります。

今後は、トマトの育成記録と、奮闘記を記載して町内外の皆さまにトマトの良さを発信します。

皆様のご支援をお願いします。

スタッフの名前は、記載しません。

今後の発行は、月末を予定しています。



編集 てるりん

令和7年4月1日 辞令交付を受けました。

雪解けが進み、青空の下作業が進められています。ハウスの進捗状況を確認すると、骨組みが立てられ補強用の横柱が組まれていました。

作業は順調に進み、4月中旬に完成予定です。



てるりんのプチットマト情報 栽培ハウス編

栽培ハウスは、冬期間も立てたままにするため、強度に気を付けています。

パイプの太さは直径3cm、パイプの間隔は幅45cmと通常のハウスよりも頑丈です。

また、当町は豪雪地域のため冬季間の管理にも注意が必要です。ハウスの間は3m間隔としています。

そのため、除雪ロータリーで作業がしやすく、ハウスの負担を軽減できます。



3月15日撮影

前日の積雪により、一面真っ白になっています。旧陸上競技場ゴール付近に、幅7.2m、奥行50mのトマト用の栽培ハウスが3棟建ちます。

私たちは、この場所で特産品の原料になるトマトを栽培します。ここが私たちのスタート地点です。

トマトマメ知識

美味しいトマトの選び方

- (1) ヘタやガクが濃い緑色で枯れていないもの
- (2) 全体の色が均一で皮に張りのあるもの
- (3) 持ってみてずっしりと重たいもの
- (4) お尻の部分の放射状の線がはっきりしているもの
- (5) 秩父別町で栽培しているもの



今後もマメ知識を記載していきます。

よろしくネ！(^^)／



秩父別町は、小さなお子さんからお年寄りまで「みんな」が「このまちに住んでよかった」と思えるまちづくりに全力で取り組んでいます。

いただいた寄付金は「子育て支援・教育振興」や「医療・福祉の充実」、「観光・産業の振興」等で活用しています。

「ふるさと納税」により「秩父別町」を応援していただきますようお願い申し上げます。

4月4日

ハウス作りの見学に行ってきました。
北垣建設さんの作業員の皆様が作業をしていました。
ハウスの強度を保つためパイプを四方に入れていました。電動換気口も取り付けられていました。また、入り口に柱も立てられ、ドアが付く状態になっていました。



この後、ハウス内を整地しビニールをかける作業が行われます。
日に日にハウスが出来上がっています。

4月7日

今日は、ハウスへ電源供給するための電柱を立てる作業が行われました。
ハウスは、下回りにビニールが張られ、風が入らないように土で埋められていました。



4月9日

前日の夕方に1棟、本日2棟目のハウスにビニールが張られました。明日以降、最後の1棟にもビニールが張られます。入り口も出来上がり、温度調節用に横側も開閉可能となっています。
この後、電気設備が取り付けられます。



事務連絡です!

ハウスの出入りに、7cmの段差ができました。
出入りの時には転ばないように気をつけましょう。
15cmから7cmに改善され、脱着が可能になりました。



4月10日

今日は、風の影響により最後のビニールを張ることが出来ませんでした。しかし、その他の工事は順調に進んでおり、水道管が埋設されました。

また、ハウス周辺に電気の配線が引かれていました。4月中旬まで作業は続き、その後は苗の作付け準備が始まります。

作業内容は、給水設備の準備、作付け用の発泡スチロールの中に土を入れる作業など、スタッフにより行われます。

作業の様子は、第2号から発信していきます。



日頃より秩父別温泉ちっぷ・ゆう&ゆをご利用いただき、ありがとうございます。

お風呂上がりの一杯にトマトジュースを飲んで、健康になりましょう!!



4月11日

最後の1棟にもテントが張られました。ハウス内には防草シートが敷かれています。

また、ハウス内上部には循環機能向上のため、送風機を各ハウスごとに3台設置しています。

これで、熱が滞留する心配がありません。



最後まで読んでいただき、ありがとうございます。
第2号の発行は、5月下旬を予定しています。

